

令和3年度 国府小学校「学校評価」について

1 「児童・保護者のアンケート結果」と「教職員の自己評価」について

(1) 「豊かな心をみがく児童」を育てるために

- 「係や委員会の活動などで自分の役割が果たせている。」と肯定的に答えた児童は87%。「お子さんは家庭での仕事を分担したり手伝ったりしている。」と肯定的に答えた保護者は67%。学校での仕事に対する児童の意識は高いが、家庭においては、そうでない。自分は学校や家庭の一員として必要な役割を担っているという責任感や自覚が育つように働きかけていきますので、家庭でも、お手伝いや自分の役割が実践できるように、よろしく願います。
- 「あいさつ」については、7割以上の児童や保護者の方が、「できている」と肯定的な回答をしています。しかし、教職員の肯定的な評価は2割にとどまっています。「交通指導の時、あいさつができない。」との意見もいただいています。「あいさつ運動」に取り組み、あいさつの意識づけを継続的に取り組みます。「大人の方からのあいさつ」や、「家庭内でのあいさつ」など、あいさつが習慣となりますよう、ご協力をお願いします。
- 「自分のよいところを知っている。」と答えた児童は64%にとどまっています。「ありがとう、いいねカード」の実施によって、友達のよいところを見つけ、友達や自分のよさに気付いています。お互いを認めることによって、いじめのない学校づくりに取り組んでいきます。

(2) 「確かな学力をもつ児童」を育てるために

- 「毎日忘れずに宿題ができている。」と答えた児童は84%、「家庭での学習習慣がついている。」という保護者は63%にとどまっています。また、「学習準備をきちんとしている。」という児童は78%。基礎的・基本的な学力を身につけさせるためには、家庭での学習習慣の定着と繰り返し行う学習が不可欠です。学校でも、家庭学習の意義を理解させたり、学習方法を指導したりしますので、ご家庭での声かけや点検等もいただきながら学習の習慣化を進めていけたらと思います。
- 「進んで学習に取り組むことができている。」と肯定的に答えた児童は75%。「進んで学習に取り組んでいる。」と肯定的に答えた保護者は60%。学校では「主体的・対話的で深い学び」となるように学習を進めています。学習に対する姿勢が積極的になるように働きかけを行っていきます。
- 「授業中は、先生や友達の話をしっかり聞いている。」と回答した児童は85%、「自分の考えを進んで発表している。」と回答した児童は58%です。「聞く」「読む」「書く」「話す」などの力を伸ばす取組を進めるとともに、児童自身の考え方やものの見方を広げ、自信をもって表現する力を育成するために、指導を進めていきます。

(3) 「しなやかな体づくりにはげむ児童」を育てるために

- 「休み時間には外で遊んでいるか。」の質問に肯定的に回答した児童は65%と、外に出ない子との二極化も進んでいます。外遊びのイベントを行うなど、外で遊ぶきっかけづくりなど工夫改善の取組を進めて行きます。
- 「自分の体のことを考えて、食事をとっているか。」では、82%が肯定的な回答です。食育部会や栄養教諭を中心に全校を挙げての取組や、家庭での食育に対する意識の高まりの結果、児童の食に対する意識が定着してきたのではないかと思います。
- 安全に関する項目の、「安全に気を付けて生活しているか。」では、91%の児童が肯定的な回答です。保護者の「学校は、子供の安全に配慮しているか。」については、82%が肯定的な回答でした。しかし、登下校の様子に対しては「狭い道で車が来ても、一列にならない。」「送り迎えの車が多くて危ない。」などのご指摘を受けています。生命に関わることであり、

引き続き児童に指導するとともに、保護者の方とともに推進していきたいと考えております。

(4) 学校と保護者・地域との連携について

- 「校長室からのおたより、学年だより、各種たより、授業参観、懇談等で、子供の様子を知らせる機会が設けられている。」に関しては、保護者の87%が肯定的な回答でした。「もっと載せてほしい。」という意見と「画像を載せないでほしい。」という相反する意見が寄せられています。個人情報保護に留意しながら情報発信をしていきます。
- 「家庭で学校であったことを会話している。」という回答が保護者の86%に比べ、児童は77%とやや低くなっています。お忙しい毎日であるとは思いますが、子供と話す時間・機会をとっていただけたらと思います。
- 地域との連携については、児童の75%、保護者の74%が肯定的な回答でした。今年度は「藍染め」「人形浄瑠璃」「稲刈り」などの、地域の特色を生かした教育活動や体験が、コロナ対策を行いながら実施することができました。今後も、継続的に取り組んでいきます。
- 「PTA活動に積極的に参加している。」と回答した保護者が44%でした。コロナの影響で、活動は減少しましたが、工夫して活動を開催されました。たくさんの方が積極的に来年度の役員となることを希望してくださいました。「児童のため」「学校のため」「会員のため」のPTAとなりますように、今後とも、ご参加・ご協力・ご支援をお願いいたします。

(5) 保護者からの意見について

- コロナと行事のあり方、タブレットの使用について、指導への要望、交通当番や地域の方への挨拶、PTA活動について、などの意見をいただきました。厳しいご指摘もありましたが、感謝のお言葉もたくさんいただき励まされました。学校運営への貴重な意見として参考にさせていただきます。

2 学校関係者評価について（学校評議員の方からのご意見）

- 挨拶は、全ての基本となると思います。子供の方からできるようになるのが望ましいですが、大人の方から声をかければ、自然と返ってくるので、大人から声をかけて、挨拶の習慣をつけてほしい。
- 家庭ですべき教育やしつけを学校が担うことが多くなりがちである。家庭と学校が連携して家庭学習や学習準備の習慣、手伝いができる子の育成、ゲームなどの使い方を指導し、就寝時間などを含めた、よりよい生活習慣を身につけてほしい。
- 学校が楽しいのは、みんなにとってよいことです。働き方改革を進め、元気で明るい先生の態度が、児童の明るさとなるような学校であってほしい。

3 令和3年度学校評価結果を踏まえた今後の改善策について

- 学力の基礎基本の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びとなるように研究を進め、タブレットを活用し、学習の充実を図っていきます。
- 地域の歴史や文化、芸術など地域の教育資源を活用した特色ある教育活動や道徳教育の推進に努め、豊かな心や人間性の育成に取り組みます。
- 体力の向上・健康の増進となるように、身体を動かすことの奨励、基本的な生活習慣の確立、食育の推進などに努めていきます。
- 「確かな学力をもつ」「豊かな心のみがく」「しなやかな体づくりにはげむ」児童の育成という視点で、学校生活が充実するよう工夫・改善を進めます。